

の提唱。厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1986年度研究報告書 p.229~231, 1987.

- 5) 小泉富美朝: 富山県立中央病院臨床病理検討会 (第10回) 記録: 白血球 (成熟型好中球) 增多症の1例. 富山中医誌11: 93-103, 1987.

病理学 (寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 荒 川 良

◆ 著 書

- 1) 上村 清: アカイエカ, イエカ, ウミヘビ, 衛生害虫, LC₅₀, 屋外吸血性, 屋外嗜好性, 屋内吸血性, 屋内嗜好性, 蚊, 外部寄生, 化性, カミキリモドキ, ガムクロラル液, カワニナ, 環境的駆除法, 環縫類, 機械的駆除法, 機械的伝播, 吸血害虫, 吸血嗜好性, 休眠ホルモン, 狭所交尾性, 警報フェロモン, 共生, 経卵伝染, KT₅₀, 口器, 抗蛇毒血清, 交尾器, 後方気門, コガタイエカ, コガタハマダラカ, 呼吸管, 呼吸管棘, 呼吸管毛, 昆虫アレルギー, 昆虫刺傷, サソリ, サソリ刺症, サワガニ, シガテラ, シナハマダラカ, 翅脈, 蛇毒, 食腎血虫, 生物学的伝播, 増幅動物, 蛇咬傷, 毒蛇, トラフグ, ヌマカ, ネットアイエカ, ネットアイシマカ, ハブ, ハブ毒, ハマダラカ, ヒトスジシマカ, ヒポプス, 吻, ペデリン, 麻痺型貝中毒, マムシ, マルピギー管, 宮入貝, ムカデ, 無吸血生殖, ヤブカ, ライトトラップ. 「最近医学大辞典」, 後藤稠主編, 6, 51, 106, 112, 139, 159, 169, 183, 210, 229, 238, 244, 267, 274, 301, 310, 315, 316, 381, 382, 383, 431, 444, 463, 467, 474, 475, 476, 507, 531, 536, 558, 606, 616, 623, 676, 786, 854, 898, 927, 1025, 1034, 1094, 1098, 1154, 1196, 1208, 1282-83, 1301, 1369, 1370, 1372, 1386, 1391, 1392, 1436, 1461. 医歯薬出版, 1987.

◆ 原 著

- 1) Sasa M. and Kamimura K.: Chironomid midges collected on the shore of lakes in the Akan National Park, Hokkaido (Diptera, Chironomidae). Res. Rep. Natl. Inst. Environ. Stud., (104), 9-61, 1987.
- 2) Kamimura K., Horio M., Doi R., Igarashi A., Ahmed Altaf., Ahmed Akhter and Takasu T.: A mosquito survey for virus isolation in Karachi. Encephalitides, Mosquitoes and a Virus in Karachi, (2), 229-232, 1987.

- 3) Doi R., Kamimura K., Horio M., Ahmed Akhter and Takasu T.: Metals in the hair samples of the residents in and around Karachi, Pakistan, 1985-1986. Encephalitides, Mosquitoes and a Virus in Karachi, (2), 247-252, 1987.

- 4) 渡辺 護, 中居昭信, 上村 清: クロトラカミキリによる家屋被害の1例. 家屋害虫, (29・30), 19-22, 1987.

- 5) 中丸勝人, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 荒川 良, 上村 清: 夏期, 冬期における手術部内微小動物 (ダニ) の実態調査と対策. 医科器械学, 57, 319-323, 1987.

- 6) Arakawa R.: Attack on the parasitized host by a primary solitary parasitoid, *Encarsia formosa* (Hymenoptera: Aphelinidae): the second female pierces, with her ovipositor, the egg laid by the first one. Appl. Ent. Zool., 22: 644-645, 1987.

◆ 総 説

- 1) Kamimura K.: Harmful insects and human beings (4) The reappearance of household insect pests and the effects of internationalization. SP World, 8, 19-20, 1987.

- 2) 上村 清: 人体内ダニ症. Medical Practice, 4, 113, 1987.

- 3) 上村 清: ステロイド剤とヒゼンダニ. Medical Practice, 4, 296, 1987.

- 4) 上村 清: シラミ対策. Medical Practice, 4, 485, 1987.

◆ 学会報告

- 1) 上村 清, 荒川 良: JH 様化合物 S-31183 のアカイエカ, コガタイエカに対する実地散布試験. 第39回日本衛生動物学会大会, 東京. 1987, 4.

- 2) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発する2種クロバエの山麓部における生活. 第39回日本衛生動物学会大会, 東京, 1987, 4.

- 3) 上村 清, 倉橋 弘, 篠永 哲, 斉藤一三, 上宮健吉, 稲岡 徹, 堀尾政博, 岩佐光啓: 南西アジア地域における人畜有害双翅類昆虫の動物地理学的研究 (昭和62年度: 予報). 第43回日本寄生虫学会・第42回日本衛生動物学会西日本支部合同大会, 岡山, 1987, 10.

- 4) 渡辺 護, 荒川 良, 上村 清: 富山県におけるコガタアカイエカ捕集数の過去18年間の年変動. 第43回日本寄生虫学会・第42回日本衛生動物学会西日本支部合同大会, 岡山, 1987, 10.

- 5) 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子, 足立雄一, 五

十嵐隆夫, 丸山明夫, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 荒川 良, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究 (VI) 室内及び室外空中オオユスリカ抗原量の季節的変動. 第37回日本アレルギー学会総会, 東京, 1987, 10.

◆ その他

- 1) 上村 清, 荒川 良: イエバエに対する JH 様化合物 S-31183 の実地散布試験 (1986年度). 緒方一喜編, S-31183 (0.5% 粒剤) の効力試験成績集, 1, 38-44, 1987.
- 2) 上村 清, 荒川 良: アカイエカ, コガタイエカに対する JH 様化合物 S-31183 の実地散布試験 (1986年度). 緒方一喜編, S-31183 (0.5% 粒剤) の効力試験成績集, 1, 53-64, 1987.
- 3) 上村 清, 荒川 良: JH 様化合物 S-31183 のアカイエカ, コガタイエカに対する実地散布試験. 衛生動物, 38, 133, 1987.
- 4) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発する 2 種クロバエの山麓部における生活. 衛生動物, 38, 137, 1987.
- 5) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の山麓部における生活. 衛生動物, 38, 154, 1987.
- 6) 上村 清, 高須俊明: カラチ地方における蚊と脳炎に関する疫学調査. 日本熱帯医誌, 14, 170-171, 1987.
- 7) Kamimura K. and Takasu T.: An epidemiological survey of mosquitos and encephalitides in Karachi, Pakistan. Jap. J. T. M. H., 14, 212-213, 1987.
- 8) エイズ注目 カリニ肺炎. 北日本新聞健康欄, 2月25日号, 1987.

細菌学・免疫学

教授	小西健一
助教授	山岸高由
助手	坂本憲市
助手	河合幸一郎
助手	鈴木修一郎
文部技官	井上裕美子

◆ 原著

- 1) 河合幸一郎, 高橋正雄: 太田川におけるユスリカ科幼虫の分布について. 陸水学雑誌, 47: 307-314, 1986.
- 2) Sasa M. and Kawai K.: Studies on Chironomid Midges of Lake Biwa (Diptera, Chironomidae). Lake Biwa Study Monographs, 3: 1-119, 1987.
- 3) Sasa M. and Kawai K.: Studies on the chironomid midges of the Stream Itachigawa, Toyama. Bulletin of the Toyama Science Museum, 10: 25-72, 1987.
- 4) Yamagishi T., Gyobu Y., Sakamoto K., Ishizaka S., Saito K., Morinaga S., Katsuda S., Umei T. and Konishi K.: Response of Ligated Rabbit Ileal Loop to *Clostridium perfringens* Type C Strains and Their Toxic Filtrates. Microbiol. Immunol., 31: 859-868, 1987.
- 5) 水島 豊, 平田 仁, 坂本憲市, 佐藤雅樹, 森蔭俊彦, 丸山宗治, 佐々木孝逸, 矢野三郎: interferon α A/D の免疫生物学的作用—OK-432との対比において—. 癌と化学療法 14: 2710-2715, 1987.
- 6) 角田美鈴, 大門良男, 松田正毅, 山岸高由, 小西健一: ブドウ球菌選択分離培地の検討. 衛生検査, 36: 1750-1752, 1987.
- 7) Yamagishi T. and Konishi K.: Some Characteristics of an Unnamed Vibrio Isolated from cholecystitis. Advances in Research on Cholera and Related Diarrheas, 6: (in press), 1987.

◆ 学会報告

- 1) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 第9報—*Eubacterium lentum* (TYH-11) の腫瘍転移に及ぼす効果についてその2—. 第60回日本細菌学会総会, 1987, 3, 東京.
- 2) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 越村三郎: *Eubacterium lentum* (TYH-11) の腫瘍転移に及ぼす影響について. 第46回日本癌学会総会, 1987,